

平成二十五年度 秋季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「秋」

期間 平成二十五年八月一日～平成二十五年十月末

投句数 一、七六〇句

特選三句

天

露坐仏へ二百十日の雨激し

神奈川県横浜市南区

岸本隆雄

地

荒波の稲村ヶ崎十三夜

神奈川県川崎市高津区

松島弘

人

朝比奈の道の狭さも秋うらら

神奈川県三浦市

秦孝浩

入選句

一般の部

揺れ動くすすきの先の寺の門

大阪府豊中市

安藤 知明

実ぎくろの割れ目に夕陽入りこむ

神奈川県藤沢市

石井 輝子

秋めきてみなゆつくりと段葛

神奈川県横浜市緑区

伊藤 とく

はまなすや鳶の空ある由比ヶ浜

神奈川県横浜市泉区

江口 隆人

大仏も肩をすくめる秋の雨

東京都町田市

小川 史哲

由比ヶ浜数へ余せるヨットの帆

東京都大田区

荻 野 操

それぞれの道は凸凹芒原

東京都練馬区

勝田 剛史

竹の春抹茶に憩ふ報国寺

東京都東久留米市

紺谷 久美子

お施餓鬼や禅師の法話生きること

神奈川県鎌倉市

斉藤 マサ子

高々と源平池の蓮の花

神奈川県横浜市港北区

鈴木 基之

鎌倉の大路かならずねこじやらし

神奈川県横浜市戸塚区

高橋央尚

秋日和八幡様へ古希参り

神奈川県横浜市戸塚区

高橋洋子

名月のあまねく照らす五山かな

神奈川県鎌倉市

土山忠滋

回廊は風吹きすさぶそぞろ寒

神奈川県横浜市青葉区

寺橋正光

札幌は雪鎌倉は初紅葉

北海道札幌市豊平区

中川原慶憲

西方へ流星の尾の確かなる

神奈川県鎌倉市

中谷正

どっしりと立子の椅子や秋日濃し

神奈川県三浦郡

宮坂美弥子

建長寺剥落も又露けしや

長崎県島原市

三好立夏

秋立つや大仏殿の風の音

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

十六夜の浪音届く光明寺

東京都板橋区

若林喜美夫

(順不同)

入選句

子どもの部

秋晴れの下で大仏拝んだよ

埼玉県深谷市

澤本匠海

鎌倉で一人旅するとんぼかな

埼玉県越谷市

白田悠斗

秋風が古都鎌倉に吹いている

埼玉県越谷市

大山ほのか

江ノ電にゆられ突然秋の海

東京都町田市

新井隆真

長谷寺にちよこんと咲いたひがんばな

東京都町田市

渋谷南菜子

東慶寺雨にぬれたる彼岸花

東京都町田市

深谷柚月

長谷駅について間もなく秋の雨

東京都町田市

浦野健太

紅葉できれいな色の源氏山

千葉県鴨川市

粕谷悠介

大仏の頭のとっぺんとんぼくる

千葉県鴨川市

和泉彩楽

流れ星ぼくらの願いのせて飛ぶ

埼玉県春日部市

鷲田 佐季

(順不同)